

FWPA 維持管理技術者ワークショップを開催

2018年10月17日に東京都港区港南区民センターで、ディスポーザ排水処理システムの維持管理業者12名と、排水処理槽メーカ7名にご参加いただき、西 総務委員長の進行で初の「FWPA 維持管理技術者ワークショップ」を開催いたしました。

本ワークショップは参加者全員で議論を行う共通テーマと、3つのグループに分かれて審議を行うグループ別討議の2本立ての構成で実施いたしました。

最初に岡田理事長から、ディスポーザ排水処理システムでは維持管理が重要であり、一層の維持管理技術を向上していくために、日ごろの維持管理作業で感じている忌憚のないご意見をいただきたいとの挨拶がありました。



岡田理事長挨拶

1. 共通テーマの討議

最初に金子企画広報委員長より、共通テーマとして「東京都下水道局ディスポーザ取扱要綱の改正」と「自治体でのディスポーザ排水処理システム維持管理状況確認での問題点」について、各社で情報共有を図る際のポイントについて説明がありました。

次に、「FWPA 維持管理技術者制度の改訂案」について、参加者による全体討議が行われました。主な意見としては、前提となる維持管理の重要性について、システム使用者であるマンション管理組合やサポートすべきマンション管理会社での認知が極めて低く、この点を是正しないと維持管理技術者制度の必要性が高まらない、非登録業者による維持管理を是正するツールとして活用できるといった意見が出されました。本件については維持管理の認知度向上も合わせて検討し、再度、関係各位の意見を聴取することになりました。

2. グループ別テーマの討議

参加者が下記のテーマに従ってグループ別にKJ法により問題点の抽出・整理を行い解決策をまとめ、各リーダーによる発表を行いました。

- ・A グループ「老朽化した処理槽のメンテナンスの実態」
(リーダー：綿谷委員)
- ・B グループ「処理槽の定期メンテナンスの頻度と作業の効率化」(リーダー：平川委員)
- ・C グループ「処理槽のトラブル事例とその対応策、並びに、現場での安全対策」
(リーダー：野津委員)

各グループとも活発な意見交換による現場視点での数多くの問題提起と解決策の発表があり、今後、総務委員会を中心に対応を行っていくこととなります。



グループ討議



グループ発表

3. 総括

最後に岡田理事長より、処理槽のトラブルや処理槽設置環境の問題等を技術者で共有して解決策を考えるワークショップを行うことで、現場での迅速な対応につながり現場作業の効率化が期待できること、20年のシステム稼働実績踏まえた柔軟な維持管理の運用の時期に来ていること、管理会社や管理組合へのアピールを強めていくこと、修理や安全の指針が必要になってきていることなどの総括がありました。

4. 評価

ワークショップ終了後にアンケート調査を実施し、17名の参加者から回答をいただきました。

本ワークショップの評価としては、回答者全員が参考になったとしており、特に各業者で共通する問題点が多いことの気づきと参加者の様々な意見が大変参考になったとのコメントが多くみられました。また、本ワークショップの継続については9割の参加者から必要と回答があり、当協会として、多忙な維持管理業務の中で参加いただくワークショップ開催の価値があったことと、本成果を確実に今後の協会活動に反映していくことが今回参加いただいた各位へのアウトプットとなることを強く感じました。